

南国市の家計簿



平成10年度の南国市の家計簿は、次のような収入と支出になりました。

南国市普通会計の決算状況は、歳入が221億6千213万8千円、歳出は215億9千189万5千円で、歳入歳出差引きは5億7千24万3千円となり、翌年度への繰越事業の財源5億2千941万1千円を除くと4千83万2千円の黒字になります。

しかしながら、これは財源不足による積立金(基金)の取り崩し1億円を行ったことによるもので、実質単年度収支は、9千55万円の赤字となりました。



市の収入

市税	54億8,919万2千円
地方交付税	51億3,479万3千円
国庫支出金	21億1,338万5千円
県支出金	15億4,666万9千円
緑入金	7億5,056万5千円
市債	46億8,527万円
その他	24億4,226万4千円
計	221億6,213万8千円

歳入

〔財源不足は、積立金(基金)からの取り崩して財源を確保〕

歳入総額は、221億6千213万8千円で前年度決算額と比べて31億2千50万2千円、16・4%の大幅な増額でした。

その主な要因は、国体競技施設整備など普通建設事業費のうち、単独事業費の大幅な増に伴う市債や、財源不足に対処するため基金からの取り崩しによる増額です。

もっとも重要な自主財源である地方税のうち市町村民税は特別減税の実施により、前年度比マイナス2億3千669万9千円、9・9%の減になりました。固定資産税は、国有資産所在市町村交付金などの増により3億22万5千円、11・8%、市町村たばこ税は3千24万1千円、8・9%の伸びとなり地方税全体としては9千669万円、1・8%の伸びとなりました。

こうした厳しい財政状況の中、限られた財源の活用には、先例や慣行にとらわれず、思いきった改善を図り、計画的・効果的な予算の執行が必要です。

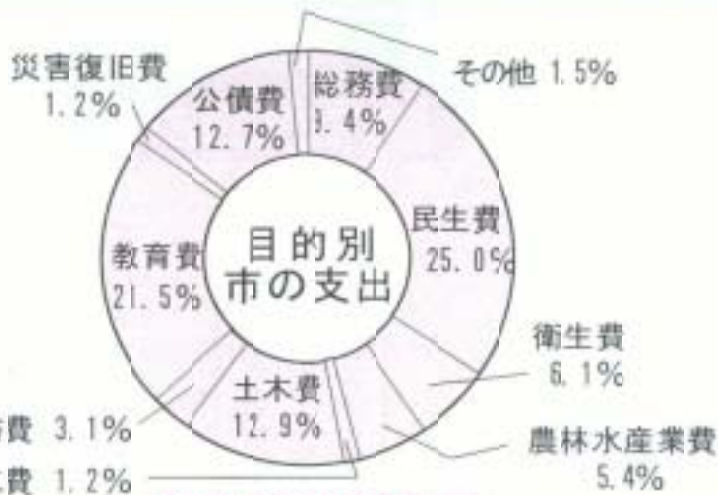
歳出

〔国体競技施設整備関連・災害復旧など〕
重点を置く

歳出総額は、215億9千189万5千円で前年度決算額と比べて、28億5千772万円、15・3%の大幅な伸びとなりました。

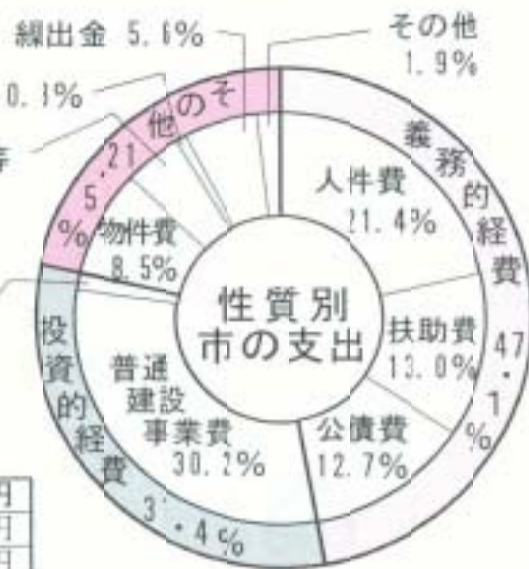
その主な要因は、教育費の中の国体競技施設整備関連体育施設費や、平成10年9月の豪雨災害による災害復旧費などの投資的経費が前年と比べ20億691万5千円、42・0%伸びたことによります。

また、義務的経費の人員費も市職員退職者の人数増に伴う退職手当の増、扶助費は特別養護老人ホームへの入所費用などの老人保護措置費の増や、公債費における市債の償還額の増額などもその要因となりました。



目的別支出の状況

総務費	10億3,526万1千円
民生費	53億9,371万6千円
衛生費	13億1,381万円
農林水産業費	11億5,878万6千円
商工費	2億6,606万1千円
土木費	17億8,241万8千円
消防費	6億6,239万9千円
教育費	46億4,295万1千円
災害復旧費	2億6,978万3千円
公債費	17億4,041万6千円
その他	3億2,609万4千円
計	215億9,189万5千円



性質別支出の状況

義務的経費		101億6,937万3千円
人件費		46億2,395万2千円
扶助費		28億500万8千円
公債費		27億4,041万3千円
投資的経費		67億8,014万1千円
普通建設事業費		65億1,035万8千円
災害復旧事業費		2億6,978万3千円
その他		44億4,238万1千円
物件費		18億2,751万5千円
補助費等		10億2,460万7千円
積立金		1億6,642万9千円
繰入金		12億747万5千円
その他		4億1,635万5千円
計		215億9,189万5千円



解説

普通会計とは、一般会計・住宅新築資金等貸付事業特別会計・土地取得事業特別会計の合計額から、繰り入れや繰り出しなど、会計間の重複額を控除した統計上の会計区分です。